

大会規則及び選手注意事項

1. 競技規則

本大会は、2026年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技者の招集

- (1) 2・3年生の部について事前に欠場が明らかな場合、朝の受付時にエントリーシートの種目欄に赤線を引き提出すること。受付後にケガ等で欠場をすることになった場合、TICで欠場届を受け取り、記入して招集所へ提出する。なお、朝の学校受付時に1年生の参加人数を報告すること。
- (2) トラック競技の招集所は100mスタート地点付近の器具庫の外（競技場外）に設ける。フィールド競技は各種目のピットに集合すること。1年生は学校受付時に配布される個人カードを持参すること。
- (3) 招集は出場できる服装で集合し、係員の指示に従うこと。
招集時間の基本は次の通りとする。組ごとに招集時間を設定するので、大会日程の招集完了時間を確認すること。下の招集開始時間よりも早く来ることを禁止する。

		招集開始	招集完了
トラック	予選	招集完了時刻の10分前	タイムテーブル参照
	決勝		
フィールド	投擲	競技開始 35分前	
	跳躍	競技開始 35分前	

※棒高跳は競技開始60分前を招集完了とし、競技場内での練習時間をとる。

- (4) 招集所でトラック競技のみ腰ナンバー標識（レーン）を受け取る。各校で準備する必要はない。
- (5) フィールド競技から次の競技に移動する際には、必ず競技役員に伝えること。

3. 走高跳・棒高跳

- (1) トラック側に走高跳マットを設置する。助走は芝生側から行う。
- (2) バーの上げ方は最後の1人になるまでは、次の規定による。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
走高跳	2・3年男子	1.10/1.40	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	以降3cmきざみ
	2・3年女子	1.00/1.30	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以降3cmきざみ	
棒高跳	2・3年男子	1.60/1.80	1.60	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	以降10cmきざみ			
	2・3年女子		1.60	1.80	以降10cmきざみ							

4. 走幅跳・砲丸投

- (1) 走幅跳・砲丸投の試技は3回とする。ただし、参加人数の関係で試技回数を変更する場合がある。
- (2) 2・3年砲丸投は本競技場で行う。1年走幅跳は補助競技場、2・3年走幅跳は本競技場で行う。

5. トラック競技

- (1) ゴール後は、メインスタンド前を通過してはならない。ただし、ゴール後にフィールド種目にすぐに出場する選手はメインスタンド前を通過してもよい。
- (2) 不正スタートは1回で失格とする。
- (3) 1年生女子800mについては、オープンレーンで行う。
- (4) 1年男女の100mはスターティングブロックを使用しない。

6. アスリートビブス

- (1) 小中体連指定のアスリートビブスを各自で用意すること。
- (2) アスリートビブスを必ずユニフォームの胸・背両面に着けること。跳躍種目はどちらか一方でも良い。
- (3) 申込ナンバーからの変更は認めない。

7. 競技用靴

日本陸上競技連盟競技規則TR5に基づいて大会に参加すること。

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、先端が鋭利なものは使用できない。
- (2) 厚底シューズに関する規定は以下のとおりである。

種目	最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目	20mm	走幅跳・走高跳・棒高跳に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目	20mm	100m、150m、800m、1500m、ハードルに適用。

- (3) WA（国際陸上競技連盟）が承認しているシューズを使用すること。
- (4) アップシューズの中には、規定に触れる厚さのものが市販されているため、失格とならないように事前に確認すること。※例：走幅跳に出場する選手が、アップシューズを履いて試技を行おうとしたが、厚さが20mmを超えているため、その靴では出場できない。
- (5) 砲丸投においては、シューズ規定の適用を除外する。

8. ウォーミングアップ

- (1) ウォーミングアップエリアとして補助競技場を使用できる。
- (2) 選手と指導者のみ入場することが可能になる。
- (3) 雨天走路は走幅跳の待機場所となるため、当該種目の選手以外の立ち入りを禁止する。
- (4) バックスタンド下の走路はチームベンチエリアとなるため、ウォーミングアップでの使用を禁止する。
- (5) 補助競技場での走高跳、砲丸投ピットの使用は、役員のいない中では禁止とする。棒高跳については、補助競技場のマットの使用は禁止とする。

9. その他

- (1) 選手の競技場入口は100mスタート地点付近のゲートのみとする。
- (2) スタンドでの応援については、メインスタンドでの応援は禁止とする。
- (3) スタンドへの入退場の制限については行わない。
- (4) チームのベンチは、各チームの責任において設置すること。補助競技場内、公園内の備え付けのベンチに設置することは禁止する。
- (5) 7:30～競技場内のメインスタンド・バックスタンド下のチームベンチ、応援ベンチ設営、競技場内の横断幕設置を可能とする。ただし、横断幕、応援ベンチの設営はバックスタンド・サイドスタンドの中段以上にすること。
- (6) ゴミの処理については各校持ち帰りを徹底し、競技場や公園内に残していかないこと。
- (7) 物品の管理について、各自の責任において紛失・盗難等のないように注意すること。
- (8) 写真撮影を行う際は、TICにて許可証をもらおうと共に、撮影に係るルールを必ず守ること。